

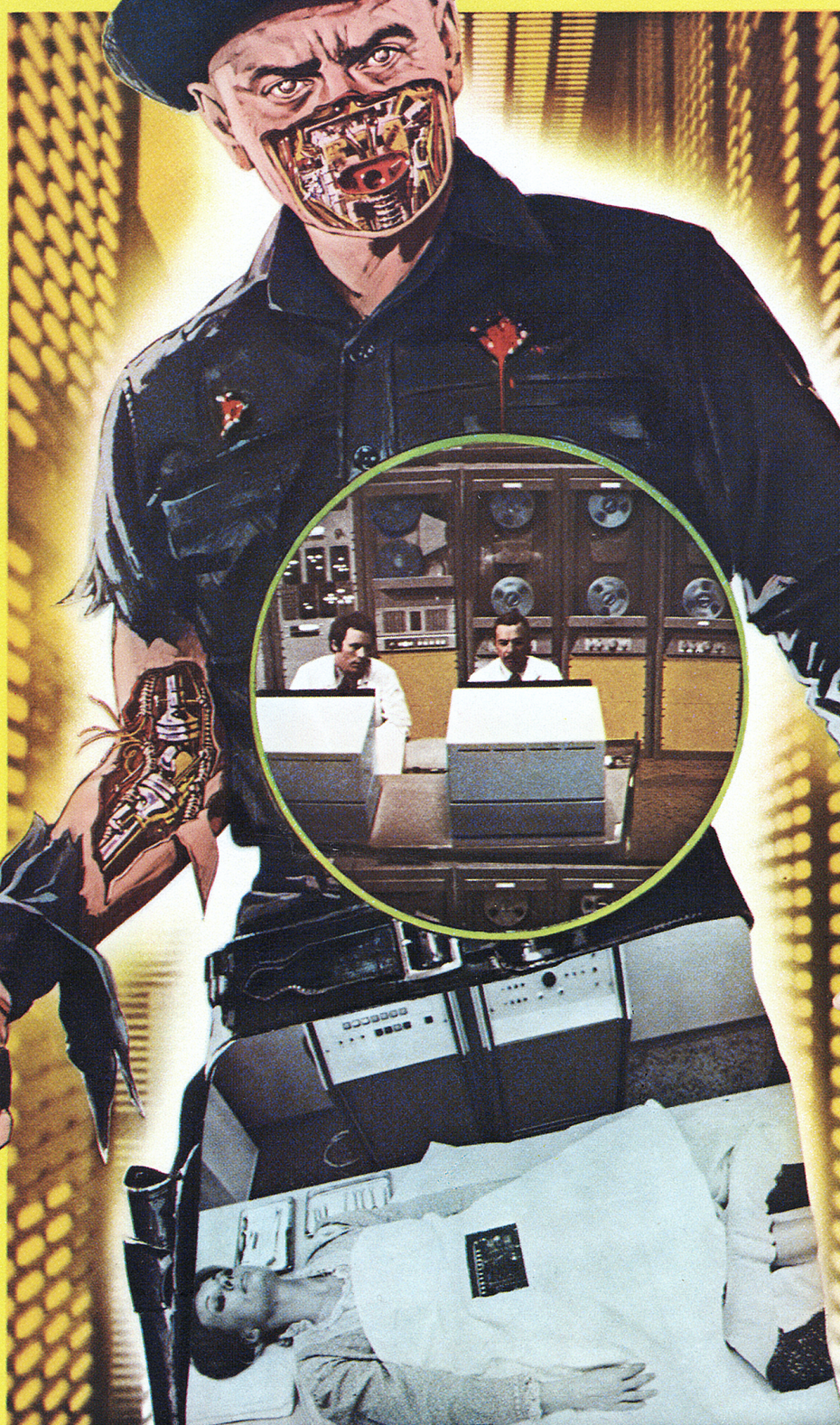
シネラマ

スーパー・シネラマ方式上映

● ユル・ブリンナー (最強のロボット)
● リチャード・ベンジャミン
● ジェームス・ブローリン

監督・原案・脚本・アンドロメダンのマイクル・クライトン
製作ボール・N・ラザラス三世 ● 音楽フレッド・カーリン ● MGM映画提供

突如！人間を襲い始めたロボットたち……
想像を絶するショックのSF超大作！



メトロカラー ● パナビジョン

WESTWORLD

ウェストワールド

12月15日(土) 新春大公開！ 全階指定席 入替え 制

スーパー・シネラマ・シアター
テアトル東京 (562) 5301

《スタッフ》

監督・脚本……………マイクル・クライトン
音 楽……………フレット・カーリン
撮影監督……………ジーン・ポリト

《キャスト》

ガンマン(ロボット)……………ユル・プリンナー
マーティン……………リチャード・ベンジャミン
ブレイン……………ジェームス・プロリン
中世の騎士……………ノーマン・バートルド
中世の女王(ロボット)……………ビクトリア・ショー
地下牢の女(ロボット)……………ジュリー・マーカス
酒場女(ロボット)……………リンダ・スコット

これは、未来のレジャーランドに、ある日突如として起こるロボットたちの反乱を描いた話題のSF映画である。

ロボットの研究は日進月歩で、現在では、恐い時には動きが激しくなったり、冷汗がにじんだりする高度の段階にまで手がとどこうとしているが、最終目標は人間と言われている。

ここでは、人間そっくりな外見を持ち、人間と全く変らない動作や行動をする最高度のロボットたちが、日頃客にいじめられてばかりいることに反発し、突然一せいに客に襲いかかり、レジャーランドは大混乱に落ち入る。

脚本は、「アンドロメダ」のSF作家マイクル・クライトンのオリジナルで、このアイデアも初めは小説にする積りだったが、いかにも映画なので直接脚本に書き下ろし、しかもみずから監督した。彼の第一回監督作品だが、卓抜なアイデアをめぐってアクションとサスペンスがいっぱい、アメリカでは空前の大ヒットとなった。

ウェストワールド WESTWORLD

☆ロボットばかりのレジャーランド

サハラ砂漠の真中に造られた未来の遊園地「デロス」は、アメリカ開拓期の西部、女王と騎士の中世ヨーロッパ、遊興ざんまいの古代ローマ、の三つの世界に分かれ、世界最大のスケールを誇っている。ここに住んでいるものは、人・家畜・蛇などすべて、外見も行動も実物と全く区別できない精巧なロボットである。彼らは決して客に危害を加えないようにできているので、客は彼らを殺すも犯すも思いのまま、それぞれ好みの世界で冒険とスリルを楽しむことができる。

☆ホバークラフトで「デロス」へ

マーティン(リチャード・ベンジャミン)とブレイン(ジェームス・プロリン)の二人連れは、西部の世界を選び、空港から駅馬車で西部の町に乗り込む。

☆ガンマン・ロボットとの決闘

ここに黒ずくめのガンマン(ユル・プリンナー)がいて、彼らにケンカを売り、射殺されても射殺されても、また決闘を挑んでくる。

☆体温拳銃

しかし、ガンマンの拳銃は決して客を傷つけない。というのは、この拳銃は体温に感応すれば玉が飛び出さない。だから客の拳銃はガンマン・ロボットを射殺できるが、彼の玉は発射されない。また客同士撃ち合っても相手を傷付けることがない。

☆コントロール・センター

ここは地下にあつて、生身の人間とコンピュータの世界である。夜地上が寝静まっている間に、一日中客のサービスで故障したロボットがここに集められて修理される。またロボットたちの行動は全部ここでコントロールされている。

☆ロボットの反乱

ところが、ガラガラ蛇(ロボット)がブレインの腕に噛みつくという思いがけない出来事が切っ掛けとなって、「デロス」全域でロボットの一世い反乱が始まる。コントロール・ルームは大あわて。さっそくロボットの機能にストップをかけるが、彼らは体内電池で暴れ回る。ことに新型ロボットは長時間行動できる。ガンマンもその一つで、ブレインを決闘で射殺し、次ぎにマーティンに襲いかかる。

☆ガンマン・ロボットの急所

反乱が続く、地下の科学者たちも全滅する。ガンマンは、光り・音・熱でマーティンをとらえ、メカニズムの非情さで、どこまでもどこまでも追いかける。絶体絶命のマーティンは、ついにガンマンの秘密の弱点を握り、決死の反撃に転じる。

(二時間三〇分)

